

練習用台本③ 【喜びの感情表現の練習】

◎ポイント…喜びの大きさと状況に着目してみよう

登場人物

- ・さやか 女子高生 （宝くじが3000円当たって嬉しい）
- ・ひかる 女子高生 （第一志望の大学に合格して嬉しい）
- ・ゆめ 女子高生 （行きたいコンサートに当たって嬉しい）
- ・すずな 女子高生 （病気のペットが退院して嬉しい）

○教室・休み時間

さやか、自席で宝くじとスマホ画面を見比べている。

さやか「え、え？」

さやか、もう一度宝くじとスマホ画面を見比べて、

さやか「やった、やった！」

さやか、跳ねるように立ち上がり、友人たちの元へ。

ひかる、ゆめ、すずな、教室の隅で喋っている。

さやか「ねえねえ！」

ひかる「え、良かったじゃん！」

すずな「すごいね！ ついに当たったんだ！」

ゆめ「うん、ほんとにやっとな！ 皆も協力してくれてありがとうね」

さやか「え、なに？ ゆめも何か当たったの？」

ひかる「ゆめ、スノーマンのライブ当たったらしいよ」

さやか「え！ すごいじゃん！ 良かったね！」

ゆめ「うん、皆も発売日に10時になった瞬間申し込みしてくれたもんね！ ありがとう！」

さやか「いやいや、私は結局当てられなかったし。ゆめの推しへの想いが伝わったんだよ！」

すずな「しかも、前から2列目だった！」

さやか「えー！ めっちゃすごいじゃん！」

ゆめ「うん……！絶対ファンサももらえるように頑張ってアピールするね！」

ひかる「じゃあ、グッズ作るの手伝うよ！」

さやか「あ、私も！」

ゆめ「え、いいの!？」

すずな「じゃあ私、ライブの当日髪セットしてあげる！」

ゆめ「えー、皆ありがとう……！じゃあ、メンバーのグッズお土産に買って帰ってくるね！ 誰がいい!？」

ひかる「あー」

さやか「いや、別に……」

すずな「うん、私たちはいいかな。私たちのことは忘れてさ、思いつ

きり楽しんで来なよ」

ゆめ「え、そう……？」

さやか「そうそう、余計なこと考えなくていいからさ！」

ゆめ「うん、ありがとう。あ、そういえばさやか、さっき「ゆめも何か当たったの？」って聞いたよね？ さやかも何か当たったってこと？」

さやか「あ、そうそう、それね」

すずな「え！ ちょっと待って」

ひかる「どうした？」

すずな、電話に出る。

すずな「もしもし、お母さん？ うん……うん……」

ゆめ「どうしたの？」

さやか「さあ……」

ひかる「なんか深刻そう」

すずな「……ほんと!? ああ、良かった……ほんとに良かったよ。」

え？ なんだあ、そうなの？ あははは。まあ元気になって安心したよ。連絡ありがとね。はい」

すずな、電話を切って戻ってくる。

すずな「ごめんごめん」

さやか「え、どうしたの？」

ひかる「大丈夫だった？」

すずな「ああ、うん。実は昨日からうちの犬が入院しててさ」

ゆめ「え、入院？」

さやか「何か病気？」

すずな「うん、何か元氣なくて餌もほとんど食べないから、心配して連れて行ったら一晩入院して様子見ましようってなってさ。でも、さっき退院したみたいなの」

ひかる「そうなんだ！」

ゆめ「良かったね」

すずな「うん、ほんと安心した」

さやか「結局、なんで元氣なかったかわかったの？」

すずな「それがさ……便秘だったみたいなんだよね」

さやか、ひかる、ゆめ、笑う。

さやか「なんだあ」

ひかる「それで餌食べなかったんだ」

すずな「そうなの。病院で整腸剤打ってもらったらすぐ良くなったみたい」

ゆめ「でも良かったね」

すずな「そうだよ。もしあの子に何かあったら私、もう何もかもやる気なくしちゃう」